

# 日本獣医麻酔外科学会演題登録フォーム

## 抄録の登録

～タグ挿入や本文の入力について～

## 1. 「演題名」

- 最上段に「タイトルタグ」を挿入して、「演題名」を記入してください。

例：<タイトル>演題名</タイトル>

① 「タイトル」 ボタンをクリック

② 本文画面に「<タイトル></タイトル>」が表示される

③ 「<タイトル>」と「</タイトル>」の間に演題名を入力する

抄録の登録

タグ挿入

■ タグの種類

タイトル 口演者 共同演者 所属

見出し イタリック アンダーライン 上付き 下付き

■ バリデーション

- ・総文字数 1,500文字 (タグを含まない)
- ・機種依存文字は使用不可

<タイトル></タイトル>

本文

抄録の登録

タグ挿入

■ タグの種類

タイトル 共同演者 所属

見出し イタリック アンダーライン 上付き 下付き

■ バリデーション

- ・総文字数 1,500文字 (タグを含まない)
- ・機種依存文字は使用不可

<タイトル>Context-sensitive half-timeに基づいた猫におけるフェンタニルの薬物動態学的検討</タイトル>

2. 1行空ける

3. 「口演者ならびに共同演者の氏名」

- 「口演者タグ」を挿入して、口演者氏名を記入してください。
- 口演者氏名の前には「○」を付けてください。
- 所属が複数の場合は、氏名の後ろに「所属」に対応する番号を記入してください。

例：<口演者>○東京太郎1) </口演者>

The image shows two screenshots of a software interface titled "抄録の登録" (Recording Registration). The interface includes a "タグ挿入" (Tag Insertion) section with buttons for "タイトル" (Title), "口演者" (Speaker), "共同演者" (Co-author), "所属" (Affiliation), "見出し" (Section Header), "イタリック" (Italic), "アンダーライン" (Underline), "上付き" (Superscript), and "下付き" (Subscript). Below this is a "バリデーション" (Validation) section with text constraints.

**④** 改行して一行空ける

**⑤** 「口演者」ボタンをクリックすると、本文画面に「<口演者></口演者>」が表示される

**⑥** 「<口演者>」と「</口演者>」の間に○を前につけて口演者氏名を入力する  
複数の所属がある場合は番号も記入する

The first screenshot shows the text "<口演者></口演者>" in the text area. The second screenshot shows the text "<口演者>○飯塚智也1)</口演者>" in the text area.

### 3. 「口演者ならびに共同演者の氏名」（つづき）

- 改行し、「共同演者タグ」を挿入して、共同演者氏名を記入してください。
- 所属が複数の場合は、氏名の後ろに「所属」に対応する番号を記入してください。
- 共同演者が複数の場合は、演者の間で「カンマ（，）」で区切ってください。

例：<共同演者>東京二郎2），東京花子3）</共同演者>

The screenshot shows a software interface titled "抄録の登録" (Register Abstract). It features a "タグの種類" (Tag Type) section with buttons for "タイトル" (Title), "口演者" (Speaker), "共同演者" (Co-actor), "所属" (Affiliation), "見出し" (Section Header), "イタリック" (Italic), "アンダーライン" (Underline), "上付き" (Superscript), and "下付き" (Subscript). Below this is a "タグ挿入" (Tag Insertion) area with a text input field. A callout ⑦ points to the "共同演者" button. The "本文" (Text) area shows the resulting HTML tags: <口演者>○飯塚智也1)</口演者> and <共同演者></共同演者>. A second callout ⑧ points to the rendered text in the "本文" area. A third callout ⑨ points to a more complex example: <共同演者>鎌田正利1), 長久保大1), 牟田佳那子2), 西村亮平2)</共同演者>.

⑦改行して、「共同演者」ボタンをクリック

⑧本文画面に「<共同演者></共同演者>」が表示される

⑨「<共同演者>」と「</共同演者>」の間に共同演者を入力する  
複数の所属がある場合は番号も記入する  
共同演者が複数の場合は、「，」（カンマ）で区切る

#### 4. 「所属」

- 改行し、「所属タグ」を挿入して、「所属」を記入してください。
- 所属の前には、「口演者ならびに共同演者」に対応する番号を記入してください。

例：<所属>1) 東京大学 農学部 獣医内科学教室 2) A動物病院 3) B動物病院</所属>

The screenshot shows a software interface for recording metadata, titled "抄録の登録" (Recording of Abstract). It features a "タグの種類" (Tag Type) section with buttons for "タイトル" (Title), "口演者" (Speaker), "共同演者" (Co-author), "所属" (Affiliation), "見出し" (Section Header), "イタリック" (Italic), "アンダーライン" (Underline), and "上付き" (Superscript). The "本文" (Text) area shows the input field with the following text: <タイトル>Context-sensitive half-timeに基づいた... フェンタニルの薬物動態学的検討</タイトル> <口演者>〇飯塚智也1)</口演者> <共同演者>鎌田正利1), 長久保大1), 牟田佳那子 <所属></所属>

Callout ⑩: 改行して、「所属」ボタンをクリック (Click the "Affiliation" button after pressing the return key).

Callout ⑪: 本文画面に「<所属></所属>」が表示される (The text "<所属></所属>" is displayed on the main text screen).

Callout ⑫: 「<所属>」と「</所属>」の間に所属機関名を入力する 複数の所属がある場合は、演者に記載した番号に対応する番号をの各所属名の前に記入する 複数の所属は、「 」(スペース)で区切る (Enter the affiliation name between "<所属>" and "</所属>". If there are multiple affiliations, enter the number corresponding to the number recorded for the performer in front of each affiliation name. Multiple affiliations are separated by a space " ").

5. 1行空ける

6. 「本文」

• 「見出しタグ」を挿入して、各項目の内容を記入してください。

例：<見出し>はじめに</見出し>\*\*\*\*\*（はじめにの内容）\*\*\*\*\*。

⑬改行して  
一行空ける

⑭「見出し」ボタンをクリックすると、  
本文画面に「<見出し></見出し>」が  
表示される

⑮「<見出し>」と「</見出し>」の間に  
項目名（ここでは「はじめに」を入力し、  
「</見出し>」の後に項目内容を入力する  
（ここでは、「はじめに」の内容を入力）

抄録の登録

タグ挿入

タグの種類

タイトル 口演者 共同演者 所属

見出し イタリック アンダーライン 上付き 下付き

バリデーション

- 総文字数 1,500文字（タグを含まない）
- 機種依存文字は利用不可

<タイトル>Context sensitive half-timeに基づいた猫におけるフェンタニルの薬物動態学的検討</タイトル>

<口演者>〇飯塚智也1)</口演者>

<共同演者>鎌田正利1), 長久保大1), 牟田佳那子2), 西村亮平2)</共同演者>

<所属>1)東京大学 動物医療センター 麻酔・集中治療科 2)東京大学大学院農学生命科学研究科 獣医外科学研究室</所属>

<見出し></見出し>

抄録の登録

タグ挿入

タグの種類

見出し

バリデーション

- 総文字数 1,500文字（タグを含まない）
- 機種依存文字は利用不可

<タイトル>Context sensitive half-timeに基づいた猫におけるフェンタニルの薬物動態学的検討</タイトル>

<口演者>〇飯塚智也1)</口演者>

<共同演者>鎌田正利1), 長久保大1), 牟田佳那子2), 西村亮平2)</共同演者>

<所属>1)東京大学 動物医療センター 麻酔・集中治療部 2)東京大学大学院農学生命科学研究科 獣医外科学研究室</所属>

<見出し>はじめに</見出し>現在の獣医療では術後の鎮痛としてフェンタニルの使用が増えている。・・・(中略)・・・今回我々は、猫におけるフェンタニルの薬物動態モデルを用いてCSHTを検討し、猫における適切なフェンタニルの用法について考察した。

本文

## 6. 「本文」 (つづき)

- 残りの項目についても、項目ごとに改行し、それぞれ同様に入力してください。
- 「症例報告」では【はじめに】、【症例】、【臨床経過】、【考察】の順に、「研究報告」では【はじめに】、【材料（あるいは症例）と方法】、【成績】、【考察】、【結論】の順に、それぞれの項目内容を書いてください。

抄録の登録

タグ挿入

■ タグの種類

タイトル	口演者	共同演者	所属	
見出し	イタリック	アンダーライン	上付き	下付き

■ バリデーション

- 総文字数 1,500文字 (タグを含まない)
- 機種依存文字は使用不可

<タイトル>Context-sensitive h  
検討</タイトル>

<口演者>〇飯塚智也1</口演者>  
<共同演者>鎌田正利1), 長久保大1  
<所属>1)東京大学 動物医療センタ  
科 獣医外科学研究室</所属>

<見出し>はじめに</見出し>現在の獣医療では術前鎮痛としてフェンタニルの使用が増えている。・・・(中略)・・・今回我々は、猫におけるフェンタニルの薬物動態モデルを用いてCSHTを  
検討し、猫における適切なフェンタニルの用法について考察した。

<見出し>材料と方法</見出し>猫で報告されている薬物動態モデルを用いて、・・・(中略)・・・  
それぞれ算出し、演者らが過去に報告したオと人のCSHTと比較した。

<見出し>結果</見出し>いずれのモデルにおいても投与持続時間が長くなるとCSHTは延長したが、投与持続時間が・・・(中略)・・・人の薬物動態モデル(Scott & Stanski)のCSHTとは大  
きく異なっていた。

<見出し>考察</見出し>今回の検討では、猫におけるフェンタニルのCSHTは犬に類似しており、  
人間とは大きく異なることが確認された。・・・(中略)・・・人間で言われているような呼吸抑  
制や覚醒遅延などの問題が生じる可能性は比較的低いと考えられた。

本文

⑩項目ごとに  
改行する

⑩' 「見出し」 ボタンをクリックし、  
本文画面上の「<見出し>」と「</見出し>」の間に、項目名を、  
「</見出し>」の後に、項目内容を入力する

⑩'' 必要な項目分、⑩～⑩'を繰り返して、  
入力を完成させる

## 7.注意事項

- 字数は全体で 4500字以内としてください。
- イタリック、アンダーライン、上付き、下付きは、タグを挿入することで入力可能です。
- 機種依存文字は使用しないでください。
- 文字数が超過している場合や、機種依存文字が使用されている場合は「確認画面」へは進めません。
- プレビューボタンを押して、内容の確認を行ってから送信してください。

登録の登録

タグ挿入

タグの種類

タイトル	口演者	共同演者	所属	
見出し	イタリック	アンダーライン	上付き	下付き

バリデーション

- 総文字数 1,500文字 (タグを含まない)
- 機種依存文字は使用不可

本文

現在の文字数: 531  
機種依存文字: 無し

プレビュー

⑰「現在の文字数」が4,500文字以内  
「機種依存文字」が「無し」  
であることを確認する

⑱「プレビュー」  
ボタンをクリック

Context-sensitive half-time)に基づいた猫におけるフェンタニルの薬物動態学的検討  
○飯塚智也1)

鎌田正利1), 長久保大1), 幸田佳那子2), 西村亮平2)

1) 東京大学 動物医療センター 麻酔 集中治療部 2) 東京大学 大学院農学生命科学研究科 獣医外科研究室

【はじめに】現在の獣医療では周術期の鎮痛としてフェンタニルの使用が増えている。…(中略)…今回は、猫におけるフェンタニルの薬物動態モデルを用いてCSHTを検討し、猫における適切なフェンタニルの使用法について考察した。

【材料と方法】猫で報告されている薬物動態モデルを用いて、…(中略)…それぞれ算出し、演者が過去に報告した犬と人のCSHTと比較した。

【結果】いずれのモデルにおいても投与持続時間が長くなるとCSHTは延長したが、投与持続時間が…(中略)…人の薬物動態モデル (Scott & Stanski) のCSHTとは大きく異なっていた。

【考察】今回の検討では、猫におけるフェンタニルのCSHTは犬に類似しており、人間とは大きく異なることが確認された。…(中略)…人間で言われているような呼吸抑制や覚醒遅延などの問題が生じる可能性は比較的低いと考えられた。

閉じる

⑲プレビュー画面が表示されるので、  
内容や体裁、文字化けの有無を確認する  
「閉じる」ボタンを押し、必要があれば適宜修正し、  
問題なければ登録作業を続ける